



## 冬の歳時記

副校長 向井 美紀

2週間前の月曜日に雪が降りました。東京では交通機関がストップし、駅は通勤・通学の人があふれかえっていました。私は、四小の子供たちが安全に登校できるだろうかと心配しながら、学校へ向かいました。なんとか、学校にたどり着くと、近所の方が歩道の雪かきをしてくださったり、教員と共に通学路で子供たちに「足元に気を付けてね。」と声をかけてくださったりしていました。いつも子供たちの安全に気を配ってくださる保護者・地域の皆様、本当にありがとうございます。

この季節になると、大雪が降った子供のころを思い出します。私の育ったところは、福島でも温暖な気候の町でしたが、年に数回は雪が舞います。その年は、夜中から雪が降り続け、朝方には町内の電気と水道がすべて止まってしまいました。積雪の重みで電線がぶら下がり、水道管が至る所で破裂したのです。

朝、寒さで目が覚め洗面所に行くと、水が出ず、顔を洗うことができませんでした。母に文句を言おうと台所に向かうと、熱々の牛乳を瓶ごと手渡してくれました。汲み置きしておいた水を鍋に入れ、石油ストーブにかけ、時間をかけて温めてくれたものです。私はハンカチで瓶を覆い、ふうふうと冷ましながら少しずつ牛乳を飲みました。甘い味がしたのを今でも覚えています。牛乳の液体が食道を通るときに、なんとも温かい気持ちになり、その後安心して、学校へ行くことができました。しかし、長靴を履き膝まである雪をかき分けながら登校したら、小学校は休校でした。

学校から帰って私は、兄弟で雪だるまを作ったり雪合戦をしたりして遊ぶ傍ら、近所の大人の人们が道路の雪かきをしたり、電力会社や水道屋さんが復旧作業をしたりするのを見ていました。昼過ぎには路地を車が往来でき、夕刻には明かりが灯り、水が出るようになりました。子供ながら、普段の生活に戻れたことを大人の方に感謝しました。

さて、冬の暮らしの中でも昔から伝わる行事や祭りがあります。先週の全校朝会で、1年生の子供たちが「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ、春の七草」と唱えてくれました。1年生は全員、すらすらと暗唱できるそうです。この七つの野菜を刻んで入れたかゆを七草がゆと言い、お節料理で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場の栄養素を補う意味もあり、よく1月7日に食されます。



1月中旬には、竿に付けて焼いた餅や団子を食べ、無病息災を祈る「どんどやき」がありました。焼いた餅や団子を食べれば、1年間健康でいられるという言い伝えがあります。国立市内では、毎年、谷保第三公園で行われ、四小の子供たちにもなじみが深い行事です。

もうすぐ立春を迎えます。長いように感じた冬も少しずつ、別れを告げています。立春の前日は、子供たちが大好きな「豆まき」があり、この日を節目に暦の上では春になります。3月には、谷保天満宮境内で梅祭りが開催され、多くの人々の目を楽しませてくれます。

このように、昔から移りゆく季節と共にいろいろな催しが行われてきました。子供たちにも季節を感じる心を大切にしながら、学年の締めくくりに向かって、短い3学期を過ごさせたいと存じます。

### 〔2月の行事予定〕

1日(月)	とちの実学級授業参観週始 委員会	13日(土)	ミニバスケ大会
2日(火)	全校朝会 地区長会 東立川幼稚園にて園児と交流(5年2組)	15日(月)	クラブ クラブ見学会(3年)
3日(水)	東立川幼稚園にて園児と交流(5年1組)	16日(火)	全校朝会 校外学習(3年) 東立川幼稚園来校
4日(木)	1・2年午前授業 新1年保護者会 地区高学年会	19日(金)	B時程 午前授業 ALT
5日(金)	全校集会 ALT マラソン旬間始	20日(土)	学校公開日 二分の一成人式(4年) 親子レク(6年) マラソン旬間終
8日(月)	安全指導 クラブ	22日(月)	クラブ
9日(火)	全校朝会 避難訓練	23日(火)	全校朝会
10日(水)	地区高学年会	25日(木)	校外学習(5年) 点字体験(3年)
11日(木)	建国記念の日	26日(金)	全校集会 ALT
12日(金)	全校集会 地区遊び③ ALT	29日(月)	6年生を送る会の練習 中学説明会



## 〔体力・運動能力向上に向けて（マラソン旬間）〕

体力向上担当：大道 なおみ

本校では体力向上に向けて持久力を高めるための取り組みを年間を通して行っており、その内容は、1学期「短縄とび旬間」2学期「長縄とび旬間」3学期「マラソン旬間」となっています。

今年も2月5日（金）より「マラソン旬間」が始まります。休み時間の最後5分をマラソンの時間と設定し、全校児童で校庭のトラックを走ります。旬間後には、学年での計測会を行う予定です。

児童の運動日常化と体力向上に向けて3学期も取り組んでまいりますので、ご家庭においてもご協力の程よろしくお願いいたします。

## 〔読書週間・読み聞かせを終えて〕

図書担当：百々 裕紀子 小島 みすず

1月18日（月）から22日（金）まで、読書週間がありました。毎日、朝の時間は子供たちそれぞれが本を読み、学校中がしんとお話をの世界に親しむ時間となりました。

中休みは図書室で、教員による読み聞かせが行われました。（読み聞かせスタンプラリー）スタンプラリーのカードを持って、読み聞かせを楽しみに、図書室に来てくれる子供たちがたくさんいました。読み聞かせが終わると、「ああ、楽しかったあ」というつぶやきや、「先生、（その本）見せて」という声も聞かれ、子供たちが本に興味をもつきっかけとなりました。

これからも、さまざまな取り組みを通して、子供たちが本の魅力を感じてくれるように取り組んでまいります。



## 〔盲導犬ユーザーさん講話（3年）〕

3年担任：大森 しづ子 佐藤 衣莉



1月19日（火）に、四小タイムの授業で、盲導犬ユーザーの澤田理絵さんをお招きし、盲導犬ラウラとの普段の生活や盲導犬のできることなどを、様々なエピソードを交えてお話を聞きました。途中、盲導犬についての〇×クイズを出してもらい、楽しみながら学習することもできました。

目の見えない方と盲導犬の怖いものは、信号と駅のホームだと言います。「困っている方がいたら是非声をかけて」との澤田さんのお願いに、大きく返事をする子供たちでした。

初めて間近に見る盲導犬の姿に癒されながらも、実りある学習となりました。

## 〔スポーツ交流会（3・4年）——オリンピック・パラリンピック教育〕 体育担当：松本 佳恵



1月28日（木）、ロサンゼルス五輪・ソウル五輪で新体操代表として活躍された秋山エリカさんにおいでいただきました。現在は東京女子体育大学教授でいらっしゃいます。

スポーツ交流会で3・4年生の児童は、秋山先生の指示をよく聞き、人とぶつからないように様々な動作をする活動をしました。

高校生の頃から新体操を始められた秋山さん。「一流」になるには、「話をよく聞く」「素直に動く」「空間認知」が大切だそうです。

新体操の技も見せていただくなど“本物”に触れることができ、充実した交流会となりました。